

第2回佐久市立中央図書館建替再整備検討委員会次第

(進行役 事務長)

日時 令和5年2月27日(月)
午後1時30分～午後3時30分

場所 中央図書館 2階 視聴覚室

- 市長あいさつ (市長) 13:30～14:00 (30)
- 1 開 会 (事務長) 14:00 (1)
- 2 会長あいさつ (会長) 14:00～14:02 (2)
- 3 会議事項 (これより会長が議長となる)
- (1) 理念・コンセプトについて 【資料1 P1】
- (2) 6本の目指す姿について 【 ” P4】
- 質疑応答・意見交換 14:05～15:25 (75)
- (3) その他 15:25 (5)
- 4 閉 会 (事務長) 15:30

現在、図書館職員が考えている理念・コンセプト等の素案

時代変化と技術革新が進む中で知識と情報がますます重要となる現代の「知識基盤社会」※1において、生涯を通じ健康で生きがいのある人生を過ごし自己実現を図るようするため、図書館には、多様化する利用者ニーズに応えることが求められています。また、従来の「単に本を借りる場」から、「様々な情報や学習機会を提供する生涯学習の場」として重要な役割を果たすことが期待されています。

中央図書館の建替再整備事業においては、これらのことを踏まえ事業を進め、これにより、市民が自ら考え主体的に行動することで課題を克服し、新たな価値観を創造していくことを支援してまいります。

このことから、図書館の理念を「○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○」とします。

また、図書館を利用することで、必要な情報や新たな興味や世界がみつき、学習や自己実現を図ることで人が育ち、人と人が交流することで人の輪・知識・人生観など新たな世界につながり、更にひろがっていくことから、「みつける そだてる ひろがる 図書館」をコンセプトとして掲げ、以下、6本の項目を目指す姿とします。

※1 知識基盤社会：新しい地域・情報・技術が、政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性をました社会のこと。

【6本の目指す姿】

- (1) たくさんの情報に出会える場 (情報センターとしての機能等)
- (2) 佐久市の歴史・文化に出会える場 (郷土資料の充実等)
- (3) 次世代を担う人づくりのできる場 (子どもたちへの読書推進等)
- (4) 活力ある人づくりを支援する場 (ビジネス支援、地域支援等)
- (5) 人と人が出会える場 (イベントスペースや会話可能な場)
- (6) ゆったりくつろげる場 (館内環境、ユニバーサルデザイン化等)

理念(案)

「知識・情報を市民の共有財産として未来へつなぐ」

【追加】「理念」と「コンセプト」の使い分けは…

理念 …こうあるべきだという根本の考え方
(30文字程度で、「○○を○○する図書館」と表現することを想定)
コンセプト …どの視点から見ても一貫した方向性を示す考え方

○ 「理念・コンセプトの素案」及び「6本の目指す姿」への追加等 (ご自由にご記載ください。)(行数が不足する場合は、改頁をお気にせず行挿入してください。以下の記載欄も同様です。)

植松
豊田

■佐久の人づくり、まちづくりに貢献する図書館
独立した項目とするかどうかは措くとして、次のような視点を入れてはどうでしょうか。
① この図書館を、佐久市民や佐久市応援団と共に創る、という視点。市民や応援団は個人・団体、大人・子どもを問わない。青柳英治編著『市民とつくる図書館：参加と協働の視点から』(勉誠出版、2022)には田原市の事例も紹介されています。参考まで。
② 図書館を市民と共に創る組織とそのスタッフに関する視点。環境変化に適応しながら成長していく「学習する組織」の視点があるとよいと思います。スタッフとボランティア的市民と図書館外の人々が、共に・互いに学び合い、成長していくことが、図書館組織の成長につながるような。
③ 忘れられがちなことですが、まちの教育・文化政策だけでなく、情報政策との関係を考えてはどうでしょう。特に、(2)と関連する地域資源に関する知のストック形成と循環や、(3)～(4)と関連するメディアリテラシー形成や情報健康づくりのためのしくみに、図書館は貢献できるでしょう。流行のDXやリスティングとも関係しますが、図書館ならではの長期的視点で考えたいですね。情報健康については、鳥海不二夫他『デジタル空間とどう向き合うか 情報健康の実現をめざして』(日本経済新聞出版、2022)を参考にしました。

森

●第二次佐久市総合計画の文言も取り入れ、市の施策と紐づけていただくとよいのではないかと思います。「生涯にわたり学び、生きる力を育む」「主体的、創造的な学びと文化の熟成」→抽象的な概念を、具体的に実現していくにあたって、図書館という機能がいかにか効果的か、アピールできると良いと思います。
●利用者を、図書館が提供するサービスを一方的に享受する「受動的」な存在から、自ら情報や活動を生み出す「能動的」な存在と捉えるような表現があるとよいのではないかと思います。(「図書館は民主主義の柱」という言葉があり、そのために「知る自由」を保障することは図書館の使命ですが、主体的・能動的な関りを市民に持ってもらえるようなプラスαがあってほしいと思いました。)
●「理念」と「コンセプト」の違い、使い分けはどのようにイメージされていますでしょうか？
●【6本の目指す姿】に関連して、複合施設化の方向性(どの施設と組むことになるのか)によって、ソフト面・ハード面の充実度、力点が変わってきそうだと思います。
●限られた空間を最大限活用するためにも、これからの社会を生き抜いていく市民スキルとしても、リアル+バーチャルのベストミックスな要素があると良いのではないかと思います。
●何かしら、これぞ「佐久」という要素(キーワード)があると良いのではないかと思います。

森田

佐久市のコンセプトはいいと思いました。ただ、その解説に違和感があります。私が考える理想の図書館、生涯学習施設は、「それぞれの現場にある知」に自らで気づく機会が数多くあり、多くの「活動」が生まれる場です。さらに言えば、MALL(都城市立図書館)以降、図書館は「生きるため」の拠点になり得ると思っています。信州には公民館という素晴らしい施設がありますから、そこの連携は信州ならではの特征となるでしょう。(MALL: Miyakonojo Augmented Library for Living)
参考までに、これまで私が考えてきた図書館を含む施設のコンセプトをあげておきます。
武蔵野プレイス「“気づき”から始まる《アクションの連鎖》が起こり得る『機会』と『場』を提供し、支援していく」/都城市立図書館「ひとりひとりが《だいじなもの》をみつけていくために」/長岡市 米百俵プレイス「未来への問いをつくる」/厚木市複合施設(市庁舎、図書館、未来館、連携機能など)「いい日々、いい時間。」

| | |
|-----|---|
| 柳澤 | <p>理念について、例えば 「豊かな知識を市民の共有財産として未来へつなく」 「地域の共有知（コモンズ※）を未来へつなく」など。 ※共有知と共有地をかけた （前回の委員会での議論も踏まえて、）知識・情報が溢れている世の中において、何でもかんでも伝えれば良いという状況ではなくなっている中で、どういう知識・情報を未来につないでいきたいのか、を理念に盛り込んだ方が良くと思いました。また、「情報」は知識に包摂される上に、一時的な性質が強いため、特に理由がなければ未来へつなくという言葉との相性も考慮して、理念には表記不要かと思いました。</p> |
| 小木田 | <p>理念の素案：市民ひとりひとりの幸福と民主主義の実現に資する知・情報・場を提供する コンセプトの素案：「みつける」「そだてる」「ひろがる」の中心に「生まれる」「生み出す」「つくる」「創造する」等、図書館発で何かを生み出すというコンセプトを加える。</p> |
| 篠原 | <p>「6本の目指す姿」について 「〇〇場」という表現になっているが、「目指す姿」は図書館の働きを表しているので、6つの方針すべてを「場」とするのは無理がある（たとえば、アウトリーチサービスなどを含みにくい）。文末は、「図書館」とした方がよいと思う。 (1)「たくさんの情報」という表現が気になる。ここは、求める情報に出会うしきみがあること、情報にアクセスしやすいことを述べているので、次のようにしてはどうか。→情報のポータルサイトとしての図書館 (2)もう少し創造的な側面もほしい。→佐久市の文化的な拠点となる図書館 (3)「人づくり」という表現が気になる。図書館は、直接的な「教育」というより、自ら育つ人を応援する働きがある。→子どもの成長を支える図書館 (4)「人づくりを支援する」という表現が気になる。「人づくり」は結果としてなること。→市民の役に立つ図書館 (新規1) 誰もが利用できる図書館 (新規2) 市民とともに育つ図書館 以上をまとめると、以下ようになる (1) 情報のポータルサイトとしての図書館 (2) 佐久市の文化的な拠点となる図書館 (3) 子どもの成長を支える図書館 (4) 市民の役に立つ図書館 (5) 人と人が出会える図書館 (6) ゆったりつるげる図書館 (7) だれもが利用できる図書館 (8) 市民とともに育つ図書館 8つの柱は多いので7つに減らす場合、(1)を(2)と(4)にまとめることができる。 順としては、(4)(2)(7)(3)(1)(5)(6)(8)か</p> |

新施設の機能と特徴について

(1) たくさんの情報に出会える場（情報センターとしての機能等）

人と情報が集まり、知りたい・学びたいという気持ちが充足でき、様々な可能性が生まれる情報拠点となる場を目指します。

市政や地域情報の充実を図るとともに、様々な情報が集まる仕組みづくりをすることで、市民ニーズに応えることのできるサービスシステムを構築します。

| | |
|---------|---|
| | ○ソフト面（ご自由にご記載ください。） |
| | 資料の収集・展示 |
| 植松 | ・資料購入費の増額＝新しい本の数と雑誌の種数を増やす ・展示・掲示の拡充 |
| 小木田 | ■電子書籍（含オーディオブック）も借りられるようにする |
| | 館内環境 |
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■どのサービスも、スマホからアクセス・利用できるようにする。館内で無料Wi-Fiを利用できるようにする |
| | 広報の充実 |
| 植松 森 | ・週替わりで館長のメッセージを入り口付近に掲示 ●中学生のワークショップの記録を見ていると、「図書館」は「勉強できる場所」というニーズとして出てくるようです。安心して「勉強できる場」が必要とされているのは確かですが、それが図書館がいいのか？…もっと好奇心が刺激されるような場＝図書館という、新しいイメージ作りも必要そうだと思います。 |
| 篠原 | ○図書館自体の情報発信も必要（統計資料、運営情報、会議情報、関係法規等） |
| | サービス |
| 植松 | ・インターネット用PC,ipadの提供＝Ipadはセルフ貸し出し方式で |
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■レファレンス、コンシェルジュのサービスを充実させる ■日本語が母語でない人向けの「やさしい日本語」によるガイド、視覚障害者のための音声サービスを提供する |
| 篠原 | ○情報を整理して図書館のHP上にリンク集をつくる。特に、市の情報については、類縁機関の情報をきめ細かく採録する。 ○各種利用案内を用意する。（紙媒体、デジタル） ○パスファインダーを作成して用意する。（紙媒体、デジタル） |
| | 既存の機能の活用 |
| 植松 森 | ・職員による「個性ある」棚づくり＝ゾーンを決めてかつできる限り閉架資料を活用する。 ●新たな強みとして、情報センターとしての機能は重要だと思います。 ●読書センターとしての機能はこれまで通り（これまで以上）に維持・発展させるということは、大前提となりますでしょうか。 |

| | |
|-----|--|
| 篠原 | ○わかりやすい配架をする。わかりやすいサインにする。棚見出しのサインは、図書館に慣れない人にもとつきやすい言葉になるよう工夫する。 |
| | 講座、イベント等 |
| 植松 | ・調べる学習コンテストの開催 |
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■開催するな展示やイベントをできるだけ「発案者の顔が見える企画」にする ■開催するイベントは、リアルだけでなくオンライン視聴・参加も可能に |
| 小木田 | 【情報センター機能】 ■大型書店入口の新刊平台のように、新着図書・人気のある図書・図書館おすすめの本を展示 ■通常の新聞、雑誌のほか、佐久市内・長野県内のフリーペーパーやミニコミ誌、ZINE（個人雑誌）を展示 |
| 篠原 | ○情報検索等、資料を探す講座を開催する。 |
| | 「場」の提供 |
| 豊田 | 図書館には、知（血）を町中に循環させる、心臓のようなイメージがあります。図書館の除籍した資料や、市民の自宅、会社・団体の倉庫に眠っているような資料（本・文書etc.）を売買したり、交換したりするマーケット的な機能を組み込んではどうでしょうか。（田原市図書館の複合施設内にはNPOが運営するリサイクル・ブック・オフィスという「お店」があり、除籍・寄贈資料や、市民発のイベントチケット、フェアトレード品などを販売して、図書館を応援する市民活動の資金にしています。） |
| 森 | ●新たな強みとして、情報センターとしての機能は重要だと思います。 |
| 森田 | 情報が集まり、出会うための機能はインターネット上にすでにあります。ひとびとにとって問題なのは、自分にとって必須（最適）な情報を探し（選び）出すことと、その情報の真偽や価値を判断することです。せんだいメディアテークを準備していた時に、当時生涯学習課長で、のちにsmt館長、市長となった奥山恵美子さんは、この情報を扱うことができることを支援する施設をつくりたいと言われ、実践されてきました。 MALLでは、これは「場づくり」と言い換えて、児童、障がい者、高齢者担当を場づくりチームと呼ぶことにしました。やってあげるというサービスではなく、自らでできるような場をつくるということです。 |
| 柳澤 | WEBの情報、本の情報、自分の体で感じる一次的な情報など、それぞれの情報に対する向き合い方に気づけるような空間づくりやワークショップ。 ○ハード面（ご自由にご記載ください。） |
| | 書架 |
| 植松 | ・できるだけたくさん資料を開架方式で＝広い、まとまった開架書架スペース ・開架書架と閲覧座席との適度な混在 |
| 篠原 | ○ 書架の棚はコーナーづくりが容易にできるよう移動・傾斜できるものに。 ○ サインは最少で効果的に。デザインのすぐれたもの。 |

| | |
|-----|--|
| | 案内表示 |
| 篠原 | ○ サインは最少で効果的に。デザインのすぐれたもの。 |
| | コーナー、スペース等 |
| 植松 | ・新ストープの設置や「浅間山が展望できるラウンジ」など人の集まるシンボリックな場所を設ける ・講習室（データベース、スマホ、SNSなど） |
| 豊田 | 市民の交流のための広場的空間の一部として、マーケットあるいはお店的な場があるとよいですね。スキマ的な場を活かす発想でもよいのですが、私のいた田原市中央図書館、近い所では塩尻市の「えんぱーく」などのイメージです。 |
| 森田 | 図書館を利用したことがない（日頃、本に馴染みがない）人びとにとっては「閲覧席」もなかなか落ち着かないものです。より多くのひとに使ってもらうためには多様な居場所（室、コーナー、席など）をつくるのが重要です。 武蔵野プレイスでは宿題もゲームもやっていたいいティーンズスタジオをつくりました。MALLでは、さらに館内でゲームや居眠りをしているにも注意することはしません。ただし、席が足りない場合には、自棄するモラルは醸成されるようにスタッフが話しかけるなどしています。 |
| 小木田 | ■それらを立ち読み・座り読みできるような「壁面が書棚で中央に椅子」のようなゆったりしたスペース |
| 篠原 | ○ 館内の要所要所に展示コーナーを設ける。 ○ 情報検索等の講座のための集会施設。及び、タブレット又はノートパソコン。 |
| | ホームページ等 |
| 篠原 | ○ 図書館のHPは、単なる広報の手立てではなく、資料そのものを掲載したり、直接図書館サービスを行う電子図書館の性格をもつものとなっている。市のサーバーとは別に独立のサイトを用意して、情報量増大にも備える。 |
| | (2) 佐久市の歴史・文化に出会える場（郷土資料の充実等） 地域の歴史・文化情報を誰もが利用できる開かれた図書館を目指します。 地域を知りたいという利用者ニーズに応えられるよう、地域資料の充実を図り、ニーズに応じた情報提供を可能にすることで、佐久市の歴史・文化に出会える場を構築します。 |
| | ○ソフト面（ご自由にご記載ください。） |
| | 館内環境 |
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■どのサービスも、スマホからアクセス・利用できるようにする。館内で無料Wi-Fiを利用できるようにする |
| | サービス |
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■レファレンス、コンシェルジュのサービスを充実させる ■日本語が母語でない人向けの「やさしい日本語」によるガイド、視覚障害者のための音声サービスを提供する |

| | |
|-----|--|
| | デジタル化 |
| 植松 | ・国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料提供サービス ・デジタル資料の提供 |
| 森 | ●どこにいても、地域資料にふれられるという意味では、デジタルアーカイブ化ができると良いと思います。また、使うだけでなく、住民の方々が共に学び共に地域資料をつくっていくようなコミュニティが育つような仕組みがあると良いのではないかと思います。 |
| 柳澤 | 新しい技術を用いた地域史の再編纂 (地域史の電子書籍化、視覚的なデータベース化、VRの活用など) |
| 小木田 | ■資料をデジタル化し、遠方からでもアクセスできるようにする |
| 篠原 | ○市内にしかない貴重な資料はデジタル化・公開の計画を立て、HPで公開する。 ○市民参加型のデジタルフォトマップづくり。 |
| | 資料の収集・展示 |
| 植松 | ・中山道に関する資料など地域の過去、現在、未来に関する資料の収集と展示 ・市民参加型の地域探索と資料の作成公開 ・実物展示（記録を作った佐久長聖高校生のマラソンシューズなど） |
| 森 | ●地域資料そのものを、中央図書館に集約するかどうかは、分館や分館のある地域住民の方のニーズとの関係で調整が必要だと思います。 |
| 小木田 | ■佐久市民だけでなく、観光客や移住希望者の興味にこたえる展示に |
| 篠原 | ○佐久市に関わる史資料の収集。行政資料、その他流通していない資料も積極的に収集する。 ○市内出身者、市内関係者を紹介する展示コーナーを設ける。 ○市内に関わる行事、芸能、建築物等の動画の収集、作成。 |
| | 講座、イベント等 |
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■開催するな展示やイベントをできるだけ「発案者の顔が見える企画」にする ■開催するイベントは、リアルだけでなくオンライン視聴・参加も可能に |
| 小木田 | ■地域を知りたいというニーズにこたえるだけでなく、「こんな歴史・文化がある」「こんなふうになれば調べられる」といったことを発信する講座を定期的開催する |
| 篠原 | ○先人を知るための講座等を開催する。 |
| | 活動の拠点 |
| 豊田 | 佐久の資源や記憶を中心に、地域発の知を編集し、蓄積し、共有し、活用し、発信する、まちを挙げての活動の拠点と考えてはどうでしょうか。デジタル・アーカイブも考えたいと思います。（図書館がやる、というより、①の市民や応援団がやるのをサポートする、場をつくる、フォーマットやOSを提供するという視点が重要。また、他の教育文化機関や、書店・出版社等との連携も重要。） |
| 森 | ●使うだけでなく、住民の方々が共に学び共に地域資料をつくっていくようなコミュニティが育つような仕組みがあると良いのではないかと思います。 |

| | |
|-----|---|
| 森田 | 歴史というと文書化されているものをイメージしますが、口頭で伝承されてきた「過去の事実」がいま消えようとしています。特に1965年前後の高度成長期を境に、大昔から伝えられてきたことが急に価値がなくなり、また垂直方向（世代間）のコミュニケーションの機会もなくなりました。しかしSDGsではその中に重要なものがあります。ヒューマンライブラリーのようなものがいま必要に思います。また、文化とは、「人びとが感ずる時間の堆積」であると私は考えていますが、感ずる生活を送らないと本当の意味での文化の継承はできないと思っています。つまり、センス・オブ・ワンダーをどうやって育むか、です。 |
| 小木田 | ■第二次大戦の戦争の記録を継承する場をつくる |
| | ○ハード面（ご自由にご記載ください。） |
| | 書架 |
| 豊田 | 書架も本だけでなく、リアルなモノが置けたり、配置も柔軟に変えられるとよいと思います。 |
| 森田 | MALLでは、「年表のような書架」を、ひとが歩く吹き抜けに面した通路に沿って置きました。旧石器から始まり、縄文、弥生と現代までが、ゆるやかな円弧を描き、続いています。そして、日本、都城、世界と3段になっていて、それぞれの時代でそこではどんなことがあったか意識できるようにしました。もちろん、都城についての出版物なんてほぼありませんから、まずは出来事を書いたカードを立ててあります。 |
| | 収集・展示 |
| 植松 | ・展示スペース（動画の閲覧もできる） ・書架の棚に展示スペースを組み込む（例：石川県立図書館） |
| 森 | ●貴重な資料を適切に保存する設備 ●展示公開する設備 |
| 篠原 | ○地域資料を配架するためのスペースを設ける。 ○特殊文庫のためのスペースをもうける。（山室静、井出孫六ほか） |
| | 編集工房など |
| 豊田 | さまざまなメディアの編集工房的なものがあるといいですね。 |
| 森 | ●地域資料のアーカイブ化ができるようなラボ的な設備（スキャナ、パソコン、プリンターなど）→地域資料に限らず、中高生や社会人の活動にも使える |
| 森田 | そして、自分たちで調べて、冊子をつくる必要があるものはつくれるように「プレススタジオ」（地域情報編集局）をつくり、編集者を置いて、エスプレッソ・ブック・マシンも揃えました。歴史は自分たちが捉えていくものだという思いが込められています。 |
| | 施設 |
| 篠原 | ○集会施設。 |
| | その他 |
| 小木田 | ■新幹線佐久平駅からの交通手段を確保 |

(3) 次世代を担う人づくりのできる場 (子どもたちへの読書推進等)

本を通じて子どもの知的好奇心を喚起し、社会への関心や夢を持たせることのできる図書館を目指します。

学ぶこと、遊ぶことのできる利用しやすい環境を構築するとともに、読書をすすめる大人の活動も高まるようボランティア活動の支援を行います。

| | |
|----------|--|
| | ○ソフト面 (ご自由にご記載ください。) |
| | 図書資料の収集・展示 |
| 植松 篠原 | ・絵本の種数を増やす ○子どもに出合っほしい本はもちろん、子どもが興味を持っている本の情報も収集する。 ○子どもが文学以外の分野にも興味関心を広げることができるよう、関連の資料を収集する。 ○YAのコーナーを設けて、YAが興味を持ちそうな資料を排架する。 ○乳幼児コーナーでは育児関係の資料や情報も提供する。 |
| | 館内環境 |
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■どのサービスも、スマホからアクセス・利用できるようにする |
| | サービス |
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■レファレンス、コンシェルジュのサービスを充実させる ■日本語が母語でない人向けの「やさしい日本語」によるガイド、視覚障害者のための音声サービスを提供する |
| | 組織・連携 |
| 植松 森 | ・専任司書の配置 ●読書推進は図書館主体で、そのほか、さまざまな子育て・子育てプログラムを開催している部署との連携で図書館に出張してきてもらい、広い意味での学びが展開する場になると良いのではないかと思います。 ●図書館では市のサービスの見本市のような存在で、より深く突っ込んだ話は専門の部署へというナビゲーションになると良いのではないかと思います。 |
| 柳澤 篠原 | 小海線沿線の高校と連携した活動 ○学校図書館と定期的に連絡をとる。 ○学校図書館支援センターの機能をもつ。(学校司書・司書教諭との定期的な打ち合わせ、連絡手段、市内便等による相互貸借等) ○幼稚園・保育園との連絡・連携。 |

| | |
|-----------|---|
| 豊田 | 子どもたちの「好き」が尊重され、読む(メディアを楽しむ)、遊ぶ、つくる、が同時にでき、実験や失敗が奨励される場になると、学校とは一味ちがう「楽しい学び」の場になると思います。個性的な「好き」を見つけるのに図書館は実にふさわしい。「特異な才能を持ちながらも学校教育になじめない子どもたちが、自由に学べる居場所がない」という課題意識が、2014年、東京大学先端科学技術研究センターでの「異才発掘プロジェクトROCKET」の立ち上げにつながったといえます。(「スタンフォード・ソーシャル・イノベーション・レビュー日本版」Vol.3,2022,p107-109) こうした、教育研究とのコラボができるといいですね。近年、全国で取り組まれている「子ども司書」も、そういう方向に行くと面白いのでは。 |
| | コーナー、スペース等 |
| 植松 | ・有料での「託児」や「親子遊び場」の提供 ・ボランティアやパートナーに委託して子供たちの工作や理科実験の場の提供 |
| 森田 | こどもには、特に「センス・オブ・ワンダー」が大事だと考えています。わくわくするものであれば、絵でも文字でも自然と興味が湧いて求めていきます。 MALLでは、「こどものにわ」をつくりました。これは20年以上前から、こどもの感性を育む活動「こどものにわ」をしている榎田拓哉氏(くっしー)に依頼し、図書館の中でできるアクティビティ(のための道具など)を監修してもらいました。くっしーは福島出身で大学から東京に住んでいましたが、この仕事をきっかけに御代田に移住し、東京、福島、御代田、たまに都城で活動をしています。 |
| 小木田 篠原 | ■子どもだけでなく、大人にとっても本との出会いを促し、読書を推進する場に ○YAのコーナーを設けて、YAが興味を持ちそうな資料を排架する。 ○YAが独自の活動ができる椅子、机、展示コーナー等のスペースがあるとよい。 ○子どもがすすんで来館したくなるような明るく楽しい雰囲気の子童室にする。 |
| | 講座、イベント等 |
| 柳澤 | 本をテーマに子供がまざって対話をするイベント ぬいぐるみお泊まり会 https://woman.nikkei.com/atcl/dual/pwr/030/37/ |
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■開催するな展示やイベントをできるだけ「発案者の顔が見える企画」にする ■開催するイベントは、リアルだけでなくオンライン視聴・参加も可能に |
| 小木田 篠原 | ■お話し会、読書会、著者を招いてのトークイベントなどを定期的に開催する ○子どもと本を結びつけるためのお話会等のイベントを定期的に開催する。 ○実験や観察会などを開催する。 |
| | ○ハード面 (ご自由にご記載ください。) |
| | 書架 |
| 植松 | ・利用者の年齢層に対応した場のしつらえ=絵本・紙芝居(乳児・幼児)、読み物(小学校低学年)、調べ学習資料(高学年)の分離確立と融合 |
| 森 | ●読書傾向を見ると、3~40代の人ニーズが絵本や児童書にあるようなので、それらの近くに、その年代の人の興味があるような本もある、電子書籍へのナビゲーションもある、といった工夫はありそうですね。 |
| 篠原 | ○児童向けの低書架。机、椅子。 ○YA向けの書架。机、椅子。展示スペース。 |

| | |
|----|---|
| 植松 | コーナー、スペース等 ・児童サービス専任カウンターの設置 ・専用トイレ ・授乳室など |
| 豊田 | 近いイメージとしては、子どもが使えるメイカーズ・ラボ、ですね。 |
| 森 | ●ゾーニングの工夫で、小さい子供さんが大きな声を出したりしても気兼ねなく安心していられるような空間があるとよいのではないかと思います。 |
| 森田 | 多様な子どもがいます。特に、もともと脳のくせとして静かにすることや文字を読むことが不得意な子どもも一定の割合でいます。お話しの部屋で静かに聞く、とか、読む習慣を付ける、ということだけでなく、多様な子どものために多様な「知る術」を扱うことを心がけることこそ、公共図書館の公正さ、平等さだと思います。 MALLの「こどものにわ」は、普段は静かにすることがなかなかできないお子さんにもここに居ていいよと言ってあげられる場所です。読む場所は、幼児はマットのスペース、椅子に座れるような子どもには大小の椅子があり、大人と一緒に本を読める「リビングのような席」をつくりました。 |
| 柳澤 | 子供専用のスケールにしたスペースを独立→例 葛飾区ミッカ https://micca.me/ 声を出しながら本を読める空間 本を読むのには少し早いかな？という兄弟も来れるキッズスペース 駒場公園内という立地を活かした外部空間との一体性 |
| 篠原 | ○学校に団体貸出する図書類を保管しておくスペース。 |

(4) 活力ある人づくりを支援する場（ビジネス支援、地域支援等）

利用者の趣味や教養を高めるとともに、ビジネス支援や地域支援のできる図書館を目指します。様々な分野の情報収集と情報発信を行い、利用者の生涯にわたる充実した生活と自己実現の達成の支援となる場所を構築します。

| | |
|-----|--|
| 篠原 | 目指す姿への意見 ○市民の役に立つ図書館 利用者の知りたい、学びたいという資料要求にきちんと対応できる図書館を目指します。様々な分野の情報収集と情報発信を行い、利用者の生涯にわたる充実した生活と自己実現の達成を支えます。 |
| | ○ソフト面（ご自由にご記載ください。） |
| 小木田 | 館内環境 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■どのサービスも、スマホからアクセス・利用できるようにする。館内で無料Wi-Fiを利用できるようにする |
| 植松 | サービス ・ニーズを踏まえたくうえで、基本的な障害者サービスの実施 |

| | |
|-----|---|
| 森田 | 図書館員のプロフェッショナル性は、例示力だと思っています。支えているのは傾聴と検索です。結論を先にいうと検索のさまざまなコツや技を教えることに特化する。商用データベースを駆使できるようになると、ビジネスにも地域活動にも役に立ちます。MALLでは情報システム系の若手スタッフが商用DBの「データベース博士」になるべく学んでいるところです。傾聴は、話を聞いてあげることによって自己解決することも多く、ひとひとの課題やテーマを知るにはとても有効ですが、人的リソースを使うことも覚悟する必要があります。 |
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■レファレンス、コンシェルジュのサービスを充実させる ■日本語が母語でない人向けの「やさしい日本語」によるガイド、視覚障害者のための音声サービスを提供する |
| 篠原 | ○求められた資料は、あらゆる手段をつくして探索して提供する。 ○潜在的ニーズを発見して資料収集・紹介・展示・提供することも含む。 ○レファレンスや調査活動に役立たせるため、参考資料を充実させる。データベースを導入する。 ○ニーズに応えられる豊富な資料を収集する。 |
| | 協働、連携 |
| 植松 | ・サポーター制度（市役所各部署や市内の活動団体・協会などと連携・協力）の採用 |
| 森 | ●ビジネス支援や地域支援に関連する部署との連携で図書館に出張してきてもらい、広い意味での学びが展開する場になると良いのではないかと思います。 ●図書館は市のサービスの見本市のような存在で、より深く突っ込んだ話は専門の部署へというナビゲーションになると良いのではないかと思います。 |
| 森田 | ビジネス支援は図書館員には（ビジネス界での経験豊富な人はなかなか少ないので）限界がある、と割り切った方がいい。本格的にやるなら中小企業診断士や銀行との協働をお勧めします。 |
| 小木田 | ■移住者や起業した人のネットワークづくりを支援 |
| 篠原 | ○市内の館種の異なる図書館（学校図書館、大学図書館）、他の自治体の図書館、類縁機関、近隣の市町村との関係機関との連携を強化する。 |
| | 展示、コーナー |
| 植松 | ・地場企業等の展示 |
| 柳澤 | 農、食、自然など、佐久地域に深く関わりのあるコンテンツに特化したコーナー。 |
| 小木田 | ■移住希望者やUターン希望者が仕事を見つけるのに役立つ資料が検索・閲覧できるコーナーをつくる。 |
| | 講座、イベント等 |
| 植松 | ・市民による講座の開設 |
| 豊田 | 「理念・コンセプトの素案」及び「6本の目指す姿」への追加等”の③でも書きましたが、メディアリテラシーや情報健康づくりが、大人の「楽しい学び」として取り組むことができると、あらゆる大人の学びの基礎になるのでは、と思います。塩尻のえんぱーくが「本の寺子屋」という取り組みをしていますが、「メディアの寺子屋」といったところでしょうか。 |
| 柳澤 | 新しい趣味や事業にチャレンジするきっかけとなる選書、企画、イベント。 |

| | |
|-----|---|
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■開催するな展示やイベントをできるだけ「発案者の顔が見える企画」にする ■開催するイベントは、リアルだけでなくオンライン視聴・参加も可能に |
| 小木田 | ■サイトづくり、SNSでの発信の仕方、クラウドファンディングの利用の仕方などを学べる（学びあう）場をつくる |
| | ○ハード面（ご自由にご記載ください。） |
| | コーナー、スペース等 |
| 植松 | ・サポーターデスク（札幌図書館情報館のような） ・メーカースペース（市民のDIYスペース） ・子どもの遊び場 ・地元企業の製品の展示 |
| 森田 | これまでも図書館ではOPACやインターネット端末などを設置した「調べものコーナー」はつくられてきましたが、活用されているのをあまり見たことがありません。もっと「調べ方」をサポートするような場が必要なのかもしれません。 厚木市では、館内に「探求キャンパス」をつくる計画があります。これまで公共図書館は学校図書室へのサポートはなかなかできませんでした。これをなんとかしようと考えた結果、中高で最近重視し始めている探究学習を支援できないか思いました。そこで大人になっても何かを探し求めることをやろうよということ呼びかけるような場所をつくらうとしています。現在建築設計と同時並行でどんな場があればいいのかを考えているところです。 |
| 小木田 | ■写真撮影・動画制作、配信ができる機材・スタジオを設置 |
| 篠原 | ○テーマ展示に対応できる書架。 |

(5) 人と人が出会う場（イベントスペースや会話可能な場）

人と人が出会い交流することで、発展する情報センターとともに利用者の憩いの場（オアシス）を目指します。

情報が媒体となり、人・グループ同志が語り、互いに刺激し合い、時には癒しとなる場所を構築します。

| | |
|-----|---|
| | ○ソフト面（ご自由にご記載ください。） |
| | 館内環境 |
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■どのサービスも、スマホからアクセス・利用できるようにする。館内で無料Wi-Fiを利用できるようにする |
| | サービス |
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■レファレンス、コンシェルジュのサービスを充実させる ■日本語が母語でない人向けの「やさしい日本語」によるガイド、視覚障害者のための音声サービスを提供する |
| 小木田 | ■イベントスペースの予約はスマホからもできるようにする |

| | |
|-----|---|
| | 講座、イベント等 |
| 植松 | ・（作家を招いての）講演会など ・市民が講師となる〇〇大学の連続講座開講 ・市民の得意なこと（衣服のリフォームなど）の講習会 |
| 豊田 | 語らい、互いに刺激し合い、が新しいコミュニティの創出につながるようなしなかけを考えたいですね。公民館的なつながりとの共通点と相違点も考えたいと思います。また、SNSやZOOM等を使った、デジタル・コミュニティについても、最近では読書会やワークショップ型のウェビナー等が増えてきているようです（私もずいぶん参加しています）。図書館として、デジタルでの「人と人が出会う場」にアプローチすることも考えていってはどうでしょうか。 |
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■開催するな展示やイベントをできるだけ「発案者の顔が見える企画」にする ■開催するイベントは、リアルだけでなくオンライン視聴・参加も可能に |
| 柳澤 | はじめて図書館に行く、きっかけづくり。大人向け、子供向けのワークショップなどの企画。 Slackなどを活用したオンラインコミュニティ（eg.リモート市役所） |
| 篠原 | ○人々が関心を持ちそうなイベントの開催。 |
| | 協働、連携 |
| 森 | ●図書館主催のプログラムのほか、他の文化施設や社会教育施設、学校などからの出張プログラムも受け入れられるとよいですね。 |
| 森田 | ひとは作業を共にやらないとなかなか分かり合えないという持論があります。会って、話をしてもその時間はとても浅く、表層的な関係性しか生まれません。何か作業を一緒にやるようなプログラムをつくらないとだめです。図書館内でできる作業にも限界がありますので、それは外部の人、場所との連携をおこなう必要があるかと思えます。たとえば、ボランティアセンターと学習センターを融合したような仕組みをつくる。組む相手に対しても、只で労力を得る、ということではなく、きちんと経験値という報酬を出せるようにディレクションを行うということでしょう。 |
| 小木田 | ■市民による一箱古本市や、市民による個人図書館など、本や読書活動について、市民の側からも発信できる場を |
| | コーナー、スペース等 |
| 篠原 | ○情報交換を行う場と機会の提供。情報交換のための展示コーナー。市民が学習の成果を発表する展示室。 ○気軽に話ができるゾーンを設ける。 |
| | ○ハード面（ご自由にご記載ください。） |
| | コーナー、スペース等 |
| 植松 | ・いろいろな規模の活動室 ・市民の作品の展示室 ・倉庫や活動の準備室 |

| | |
|----|---|
| 森 | <ul style="list-style-type: none"> ● 固定的な部屋というよりは、オープンなスペースを用途によって小グループで使ったり大きなイベントで使ったりできるような、柔軟性のある場があると良いと思います。 ● 図書館の資料・情報、レファレンスや空間などを活用して学んだ成果が、発表できる場（本棚スペース、展示スペースや、大画面、プロジェクタなど）もあると良いのではないのでしょうか。 ● FreeWifiは、全館で使えるのが良いと思います。 |
| 森田 | 上記（ボランティアセンターと学習センターを融合）のようなセンターの場所をつくり、見せる化していくと思います。 |
| 柳澤 | 出会いや交流に重点を置いたコワーキングスペースの設置 |
| 篠原 | ○小さな講演会を行うことができる部屋とプロジェクター、PC及び視聴覚設備。 ○グループでの話し合いができるフロア。フレキシブルに組み合わせできる椅子・机。ミニ白板。 |
| | その他 |
| 植松 | ・市内循環バスの立ち寄り |

(6) ゆったりくつろげる場（館内環境、ユニバーサルデザイン化等）

「できるだけ多くの人を使いやすいように、製品や建物、環境をデザインする。」というユニバーサルデザインの考え方と、「楽しく、居心地よく過ごせる、学習できる空間」という考え方を満たした場を目指します。

誰もが気軽に利用しやすい設備を設けた場、賑やかさと静けさが共存した「利用者のいばしょ」になる空間を構築します。

| | |
|-----|---|
| | ○ソフト面（ご自由にご記載ください。） |
| | 館内環境等 |
| 森 | ●場所によっては、適度な音量の音楽がかかっていることで、「静かにしなきゃ！」という雰囲気から適度なざわめきが許容される空間の演出ができるようです。 |
| 森田 | これはもう当たり前のことです。 |
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■どのサービスも、スマホからアクセス・利用できるようにする。館内で無料Wi-Fiを利用できるようにする |
| | ユニバーサルデザイン |
| 豊田 | 読書を含む情報アクセスや図書館利用に障害のある人々への、知的アクセス保障という観点は、非常に重要だと思います。ユニバーサルデザイン+ユニバーサルアクセス（ただし、インターネットに限らない）、とてもいいのではないでしょうか。 |
| 小木田 | ■通路・階段などの動線、トイレなどを全面的にバリアフリーに。設備を最先端のバリアフリーにすることは、そのこと自体が多様性を尊重するというメッセージの発信になるので |
| 篠原 | ○ユニバーサルデザインに基づいた安全で快適な環境づくり。 |
| | サービス |
| 小木田 | 【6本の目指す姿に共通するソフト面として】 ■レファレンス、コンシェルジュのサービスを充実させる ■日本語が母語でない人向けの「やさしい日本語」によるガイド、視覚障害者のための音声サービスを提供する |

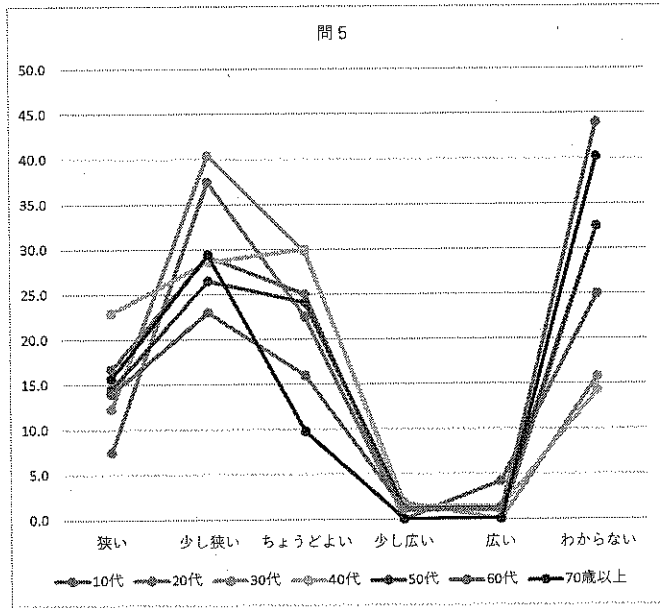
| | |
|-----|---|
| | コーナー、スペース等 |
| 小木田 | ■チェーン展開するカフェでなく、地域密着型のカフェを。ドリンクの提供だけでなく、地元食材を使ったお菓子・軽食などを、期間限定で出店してもらおう |
| 篠原 | ○一人でもグループでも長時間過ごせるこぢい空間。 ○乳幼児と保護者が親子でくつろげる場の提供。子どもづれの親子が他の利用者に気兼ねなく利用できるスペースや設備の提供。 ○疲れたときに休めるカフェや軽食コーナーがある。 |
| | ○ハード面（ご自由にご記載ください。） |
| | 館内環境等 |
| 植松 | ・入りやすい入り口 ・高校生の居場所（おしゃべり自由、スマホ自由、ゲーム自由、ダンスなどパフォーマンス自由の場）武蔵野プレイスの地下階のイメージ ・さまざまな種類の椅子、ソファ、 |
| 森 | ●一人の人でも、集中して本を読みたい、誰かと話したい、リラックスしたいなど、その時々状況によって居場所を変えながら、滞在できるような場が求められているようです。フロアやゾーニングで、説明や注意書きがなくても自然体のなかですみわけができるような工夫ができると良いと思います。 |
| 森田 | これはもう当たり前のことです。 |
| 篠原 | ○多様な椅子や場所が用意されている。 |
| | コーナー、スペース等 |
| 植松 | ・浅間山展望ラウンジ（飲食自由、おしゃべり自由な場）大和市立シリウスの6階のような |
| 豊田 | 入口でスマホ等の電子機器を預けて、読書、瞑想等に耽ることができるスペースがあったら使ってみたいですね。ネットにつながらない飛行機の中が、いちばん、読書をしたり、ものを考えるのに都合がいい、という現実があります。 |
| 森 | ●カフェなどの事業者が入れるかどうかは、様々な要件があると思いますが、ドリンク・軽食OKなスペースは需要が高そうです。 |
| 篠原 | ○カフェ、軽食コーナー。 |
| | (7) だれもが利用できる図書館 |
| 篠原 | 市内のどこに住んでいても、図書館利用に困難がある人も、等しく図書館の資料や情報にアクセスできる図書館を目指します。 困難な状況を把握し、それぞれのニーズに対応したサービスを行います。 |
| | ○ソフト面（ご自由にご記載ください。） |
| 篠原 | ○引き続き移動図書館で市内各所をまわる。 ○来館が困難な人へ資料を宅配する。事故等により一時的に移動困難な人へも同様に対応する。 ○視覚障害者へのサービス。 ○聴覚障害者へのサービス。 ○日本語を母語としない人へのサービス。 ○文字の読み書きが不自由な人へのサービス。 |

| | |
|----|---|
| | ○ハード面（ご自由にご記載ください。） |
| 篠原 | ○移動図書館用車庫。移動図書館用図書のスツク排架場所。 ○音訳資料の製作，対面朗読，代読サービスに対応できる部屋を設ける。 ○障害のあるひとにもわかりやすいサインにする。 ○DAISY図書，LLブック，布の絵本，大型活字本の用意と必要機器や排架場所の確保。 |
| | (8) 市民とともに育つ図書館 |
| 篠原 | より多くの市民に図書館を身近に感じてもらい，よく利用してもらえる図書館を目指します。 図書館や読書に関わるボランティアを募り，市民が図書館に関わる機会を設けます。 |
| | ○ソフト面（ご自由にご記載ください。） |
| 篠原 | ○図書館ボランティアの受入れ。 ○市民の協力を得て図書館事業を行う。 ○市民の主催事業を図書館が支援して，市民の図書館運営への参画を促進する。 |
| | ○ハード面（ご自由にご記載ください。） |
| 篠原 | ○ボランティアグループが使用できる専用の部屋。 ○ボランティア情報を交換できる展示コーナー，チラシ置き場。 |

佐久市立中央図書館 建替再整備アンケート結果（年代別）

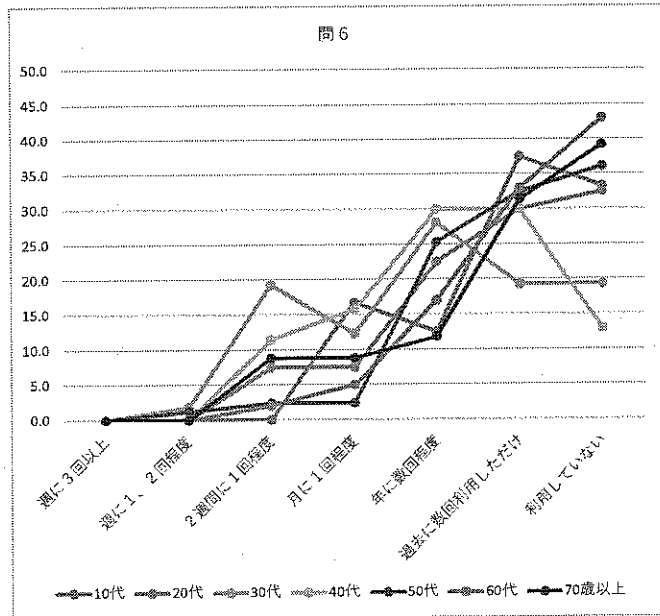
問5 現在の中央図書館の広さについてどう思いますか

| | 狭い | 少し狭い | ちょうどよい | 少し広い | 広い | わからない | 不明 | 標本数 |
|-------|------|------|--------|------|-----|-------|-------|-------|
| 10代 | 16.7 | 29.2 | 25.0 | - | 4.2 | 25.0 | - | 24 |
| 20代 | 7.5 | 37.5 | 22.5 | - | - | 32.5 | - | 40 |
| 30代 | 12.3 | 40.4 | 29.8 | 1.8 | - | 15.8 | - | 57 |
| 40代 | 22.9 | 28.6 | 30.0 | 1.4 | 1.4 | 14.3 | 1.4 | 70 |
| 50代 | 14.5 | 26.5 | 24.1 | 1.2 | 1.2 | 32.5 | - | 83 |
| 60代 | 14.0 | 23.0 | 16.0 | 1.0 | 1.0 | 44.0 | 1.0 | 100 |
| 70歳以上 | 15.7 | 29.4 | 9.8 | - | - | 40.2 | 4.9 | 102 |
| 不明 | - | - | - | - | - | - | 100.0 | 1 |
| 人全体% | 72 | 140 | 99 | 4 | 4 | 150 | 8 | 477 |
| | 15.1 | 29.4 | 20.8 | 0.8 | 0.8 | 31.4 | 1.7 | 100.0 |



問6 あなたは中央図書館を1年間にどの程度利用していますか

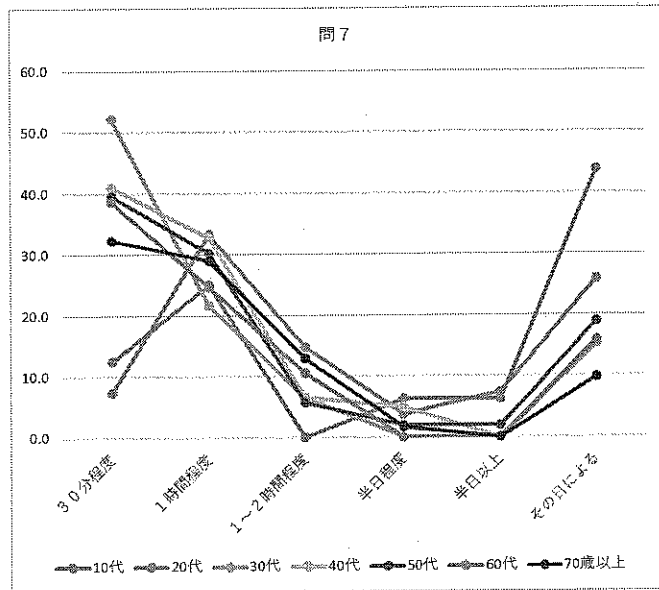
| | 上週に3回以上 | 回数に1、2 | 回数に1 | 月に1回程度 | 年に1回程度 | 利用した回数 | 利用していない | 不明 | 標本数 |
|-------|---------|--------|------|--------|--------|--------|---------|-------|-------|
| 10代 | - | - | - | 16.7 | 12.5 | 37.5 | 33.3 | - | 24 |
| 20代 | - | - | 7.5 | 7.5 | 22.5 | 30.0 | 32.5 | - | 40 |
| 30代 | - | 1.8 | 19.3 | 12.3 | 28.1 | 19.3 | 19.3 | - | 57 |
| 40代 | - | - | 11.4 | 15.7 | 30.0 | 30.0 | 12.9 | - | 70 |
| 50代 | - | 1.2 | 2.4 | 2.4 | 25.3 | 32.5 | 36.1 | - | 83 |
| 60代 | - | - | 2.0 | 5.0 | 17.0 | 33.0 | 43.0 | - | 100 |
| 70歳以上 | - | - | 8.8 | 8.8 | 11.8 | 31.4 | 39.2 | - | 102 |
| 不明 | - | - | - | - | - | - | - | 100.0 | 1 |
| 人全体% | - | 2 | 35 | 41 | 99 | 145 | 154 | 1 | 477 |
| | - | 0.4 | 7.3 | 8.6 | 20.8 | 30.4 | 32.3 | 0.2 | 100.0 |



問7 中央図書館を利用している方にお聞きします。

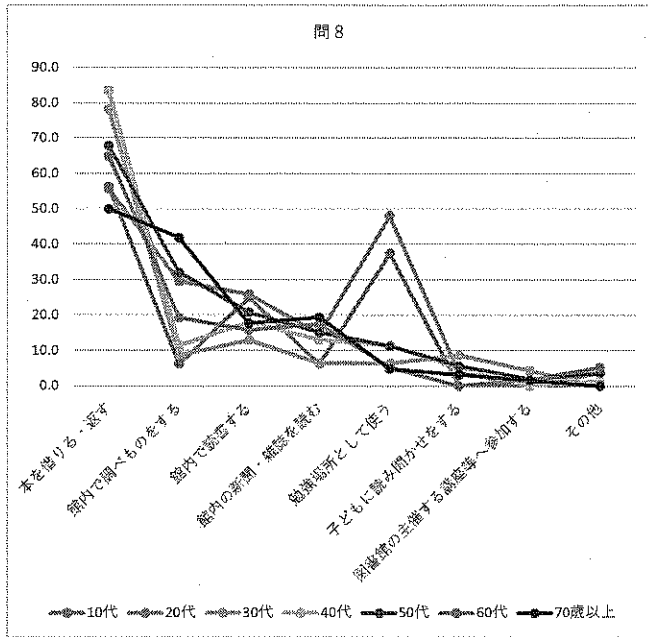
図書館での滞在時間は（利用時間）はどのくらいですか

| | 30分程度 | 1時間程度 | 1時間2時程度 | 半日程度 | 半日以上 | その日に | 不明 | 標本数 |
|-------|-------|-------|---------|------|------|------|------|-------|
| 10代 | 12.5 | 25.0 | - | 6.3 | 6.3 | 43.8 | 6.3 | 16 |
| 20代 | 7.4 | 33.3 | 14.8 | 3.7 | 7.4 | 25.9 | 7.4 | 27 |
| 30代 | 52.2 | 21.7 | 6.5 | - | - | 15.2 | 4.3 | 46 |
| 40代 | 41.0 | 32.8 | 6.6 | 4.9 | - | 9.8 | 4.9 | 61 |
| 50代 | 39.6 | 30.2 | 5.7 | 1.9 | 1.9 | 18.9 | 1.9 | 53 |
| 60代 | 38.6 | 24.6 | 10.5 | - | - | 15.8 | 10.5 | 57 |
| 70歳以上 | 32.9 | 29.0 | 12.9 | 1.5 | - | 9.7 | 14.5 | 62 |
| 人全体% | 116 | 91 | 28 | 7 | 4 | 52 | 24 | 322 |
| | 36.0 | 28.3 | 8.7 | 2.2 | 1.2 | 16.1 | 7.5 | 100.0 |



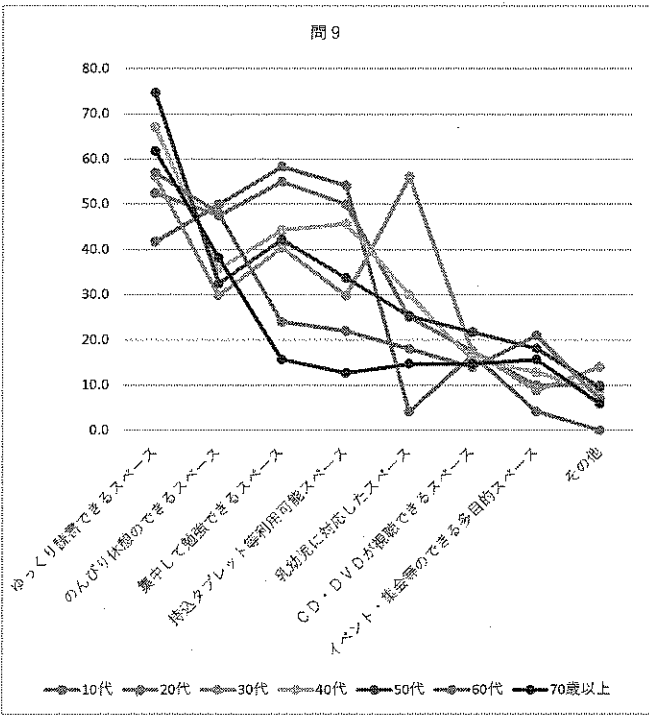
問8 中央図書館をご利用している方にお聞きします。あなたは
中央図書館をどのように利用していますか（複数回答可）

| | 本を借りる・返す | 館内で調べものをする | 館内で読書をする | 館内の新聞・雑誌を読む | 勉強場所として使う | 子どもに読み聞かせをする | 図書館へ参加する | その他 | 不明 | 標本数 |
|-------|----------|------------|----------|-------------|-----------|--------------|----------|-----|------|-----|
| 10代 | 56.3 | 6.3 | 25.0 | 6.3 | 37.5 | - | - | - | 6.3 | 16 |
| 20代 | 55.6 | 29.6 | 25.9 | 14.8 | 48.1 | 3.7 | - | 3.7 | 7.4 | 27 |
| 30代 | 78.3 | 8.7 | 13.0 | 6.5 | 6.5 | 8.7 | 4.3 | - | 4.3 | 46 |
| 40代 | 83.8 | 11.5 | 18.0 | 13.1 | 11.5 | 4.9 | - | 1.6 | 4.9 | 61 |
| 50代 | 67.9 | 32.1 | 20.8 | 15.1 | 11.3 | 5.7 | 1.9 | 3.8 | 3.8 | 53 |
| 60代 | 64.9 | 19.3 | 15.8 | 17.5 | 5.3 | - | 1.8 | 5.3 | 12.3 | 57 |
| 70歳以上 | 50.0 | 41.9 | 17.7 | 19.4 | 4.8 | 3.2 | 1.6 | - | 16.1 | 62 |
| 人全体% | 215 | 74 | 59 | 46 | 41 | 13 | 5 | 7 | 27 | 322 |
| | 66.8 | 23.0 | 18.3 | 14.3 | 12.7 | 4.0 | 1.6 | 2.2 | 8.4 | |



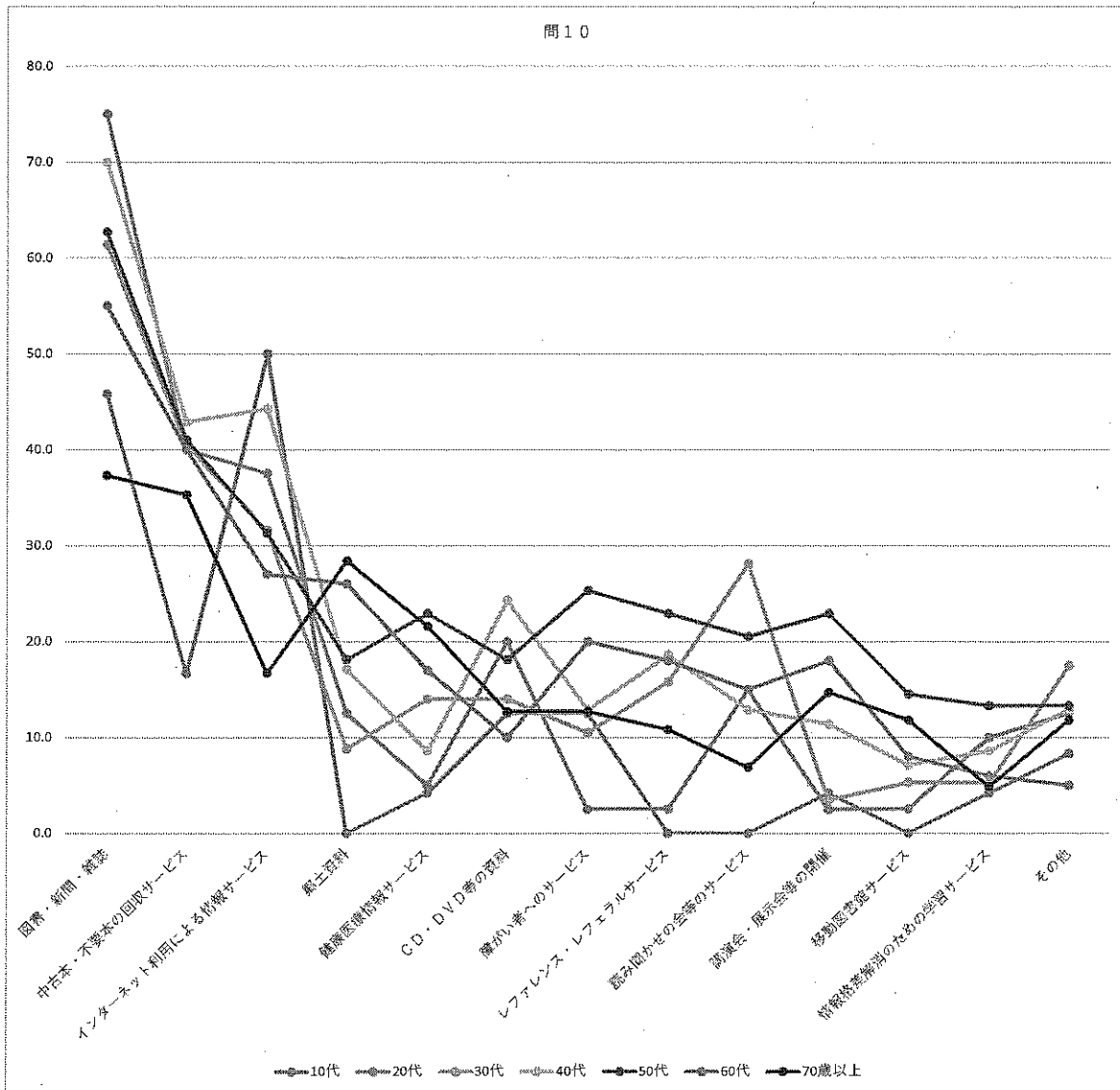
問9 新しい中央図書館に充実させてほしいスペース等（複数回答可）

| | ゆっくり読書できるスペース | のんびり休憩のできるスペース | 集中して勉強できるスペース | 持ち運び可能なタブレット等利用可能なスペース | 乳幼児に対応したスペース | CD・DVDが視聴できるスペース | イベント・集会等のできる多目的スペース | その他 | 不明 | 標本数 |
|-------|---------------|----------------|---------------|------------------------|--------------|------------------|---------------------|-------|------|-----|
| 10代 | 41.7 | 50.0 | 58.3 | 54.2 | 4.2 | 16.7 | 4.2 | - | 4.2 | 24 |
| 20代 | 52.5 | 47.5 | 55.0 | 50.0 | 25.0 | 17.5 | 10.0 | 10.0 | - | 40 |
| 30代 | 56.1 | 29.8 | 40.4 | 29.8 | 56.1 | 17.5 | 8.8 | 14.0 | - | 57 |
| 40代 | 67.1 | 35.7 | 44.3 | 45.7 | 30.0 | 15.7 | 12.9 | 8.6 | 2.9 | 70 |
| 50代 | 74.7 | 32.5 | 42.2 | 33.7 | 25.3 | 21.7 | 18.1 | 9.6 | 2.4 | 83 |
| 60代 | 57.0 | 48.0 | 24.0 | 22.0 | 18.0 | 14.0 | 21.0 | 7.0 | 6.0 | 100 |
| 70歳以上 | 61.8 | 38.2 | 15.7 | 12.7 | 14.7 | 14.7 | 15.7 | 5.9 | 15.7 | 102 |
| 不明 | 100.0 | - | 100.0 | - | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | - | 1 |
| 人全体% | 293 | 187 | 166 | 145 | 119 | 80 | 72 | 40 | 27 | 477 |
| | 61.4 | 39.2 | 34.8 | 30.4 | 24.9 | 16.8 | 15.1 | 8.4 | 5.7 | |



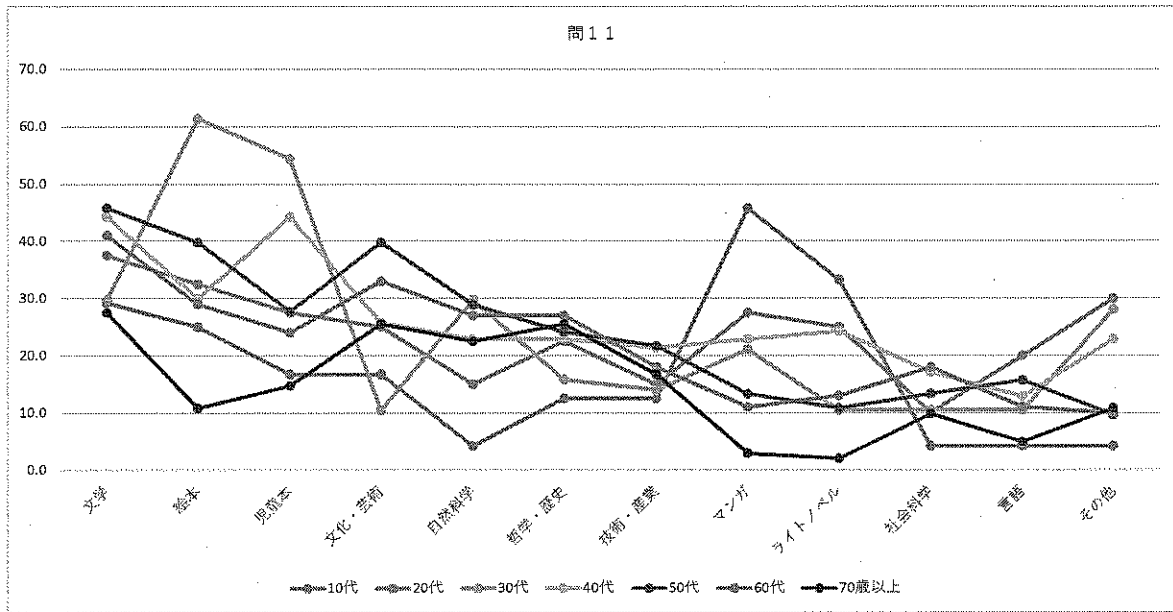
問10 新しい中央図書館に充実させてほしいサービス(複数回答可)

| | 図書・新聞・雑誌 | 中古本・不要本の回収サービス | インターネット利用による情報サービス | 郷土資料 | 健康医療情報サービス | CD・DVD等の資料 | 障がい者へのサービス | レファレンス・レフェラルサービス | 読み聞かせの会等のサービス | 講演会・展示会等の開催 | 移動図書館サービス | 情報格差解消のための学習サービス | その他 | 不明 | 標本数 |
|-------|----------|----------------|--------------------|-------|------------|------------|------------|------------------|---------------|-------------|-----------|------------------|------|------|-----|
| 10代 | 45.8 | 16.7 | 50.0 | - | 4.2 | 12.5 | 12.5 | - | - | 4.2 | - | 4.2 | 8.3 | 4.2 | 24 |
| 20代 | 75.0 | 40.0 | 37.5 | 12.5 | 5.0 | 20.0 | 2.5 | 2.5 | 15.0 | 2.5 | 2.5 | 10.0 | 12.5 | - | 40 |
| 30代 | 61.4 | 40.4 | 31.6 | 8.8 | 14.0 | 14.0 | 10.5 | 16.8 | 28.1 | 3.5 | 5.3 | 5.3 | 17.5 | - | 57 |
| 40代 | 70.0 | 42.9 | 44.3 | 17.1 | 8.6 | 24.3 | 12.9 | 18.6 | 12.9 | 11.4 | 7.1 | 8.6 | 12.9 | 1.4 | 70 |
| 50代 | 62.7 | 41.0 | 31.3 | 18.1 | 22.9 | 18.1 | 25.3 | 22.9 | 20.5 | 22.9 | 14.6 | 13.3 | 13.3 | 1.2 | 83 |
| 60代 | 55.0 | 40.0 | 27.0 | 26.0 | 17.0 | 10.0 | 20.0 | 18.0 | 15.0 | 18.0 | 8.0 | 6.0 | 5.0 | 2.0 | 100 |
| 70歳以上 | 37.3 | 35.3 | 16.7 | 28.4 | 21.6 | 12.7 | 12.7 | 10.8 | 6.9 | 14.7 | 11.8 | 4.9 | 11.8 | 12.7 | 102 |
| 不明 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | - | - | 1 |
| 人全体 | 271 | 184 | 147 | 93 | 76 | 75 | 74 | 72 | 71 | 65 | 42 | 37 | 54 | 18 | 477 |
| % | 56.8 | 38.6 | 30.8 | 19.5 | 15.9 | 15.7 | 15.5 | 15.1 | 14.9 | 13.6 | 8.8 | 7.8 | 11.3 | 3.8 | |



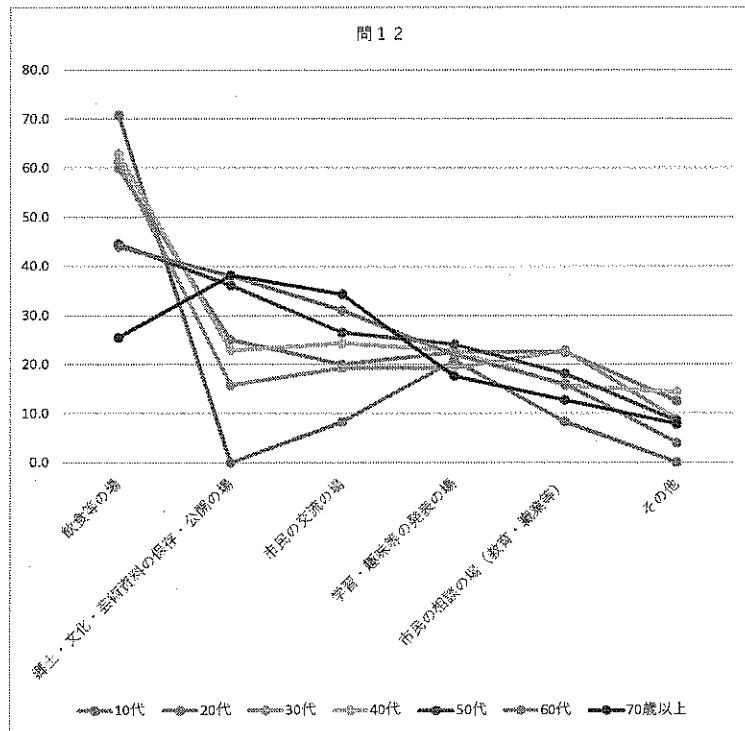
問11 新しい中央図書館に充実させてほしい図書分野(複数回答可)

| | 文学 | 絵本 | 児童本 | 文化・芸術 | 自然科学 | 哲学・歴史 | 技術・産業 | マンガ | ライトノベル | 社会科学 | 言語 | その他 | 不明 | 標本数 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|------|------|-----|
| 10代 | 29.2 | 25.0 | 16.7 | 16.7 | 4.2 | 12.5 | 12.5 | 45.8 | 33.3 | 4.2 | 4.2 | 4.2 | 4.2 | 24 |
| 20代 | 37.5 | 32.5 | 27.5 | 25.0 | 15.0 | 22.5 | 15.0 | 27.5 | 25.0 | 10.0 | 20.0 | 30.0 | 5.0 | 40 |
| 30代 | 29.8 | 61.4 | 54.4 | 10.5 | 29.8 | 15.8 | 14.0 | 21.1 | 10.5 | 10.5 | 10.5 | 28.1 | - | 57 |
| 40代 | 44.3 | 30.0 | 44.3 | 25.7 | 22.9 | 22.9 | 21.4 | 22.9 | 24.3 | 17.1 | 12.9 | 22.9 | 2.9 | 70 |
| 50代 | 45.8 | 39.8 | 27.7 | 39.8 | 28.9 | 24.1 | 21.7 | 13.3 | 10.8 | 13.3 | 15.7 | 9.6 | 12.0 | 83 |
| 60代 | 41.0 | 29.0 | 24.0 | 33.0 | 27.0 | 27.0 | 18.0 | 11.0 | 13.0 | 18.0 | 11.0 | 10.0 | 8.0 | 100 |
| 70歳以上 | 27.5 | 10.8 | 14.7 | 25.5 | 22.5 | 25.5 | 16.7 | 2.9 | 2.0 | 9.8 | 4.9 | 10.8 | 23.5 | 102 |
| 不明 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | - | - | 1 |
| 人全体% | 37.3 | 31.2 | 29.4 | 27.5 | 24.1 | 23.3 | 18.0 | 15.9 | 13.8 | 13.2 | 11.3 | 15.5 | 9.9 | 477 |



問12 新しい中央図書館にあれば良いと思うものは何ですか(複数回答可)

| | 飲食等の場 | 郷土・文化・芸術の保存・公開の場 | 市民の交流の場 | 学習・趣味等の発表の場 | 市民の相談の場(教育・職業等) | その他 | 不明 | 標本数 |
|-------|-------|------------------|---------|-------------|-----------------|-------|------|-----|
| 10代 | 70.8 | - | 8.3 | 20.8 | 8.3 | - | 4.2 | 24 |
| 20代 | 60.0 | 25.0 | 20.0 | 22.5 | 22.5 | 12.5 | 10.0 | 40 |
| 30代 | 61.4 | 15.8 | 19.3 | 19.3 | 22.8 | 8.8 | 3.5 | 57 |
| 40代 | 62.9 | 22.9 | 24.3 | 22.9 | 15.7 | 14.3 | 8.6 | 70 |
| 50代 | 44.6 | 36.1 | 26.5 | 24.1 | 18.1 | 8.4 | 10.8 | 83 |
| 60代 | 44.0 | 38.0 | 31.0 | 22.0 | 16.0 | 4.0 | 13.0 | 100 |
| 70歳以上 | 25.5 | 38.2 | 34.3 | 17.6 | 12.7 | 7.8 | 19.6 | 102 |
| 不明 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | - | 1 |
| 人全体% | 47.8 | 30.0 | 26.6 | 21.4 | 16.8 | 8.4 | 11.5 | 477 |



中央図書館 年齢別貸出人数

